NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を活用して労働問題解決プランを作成しよう

2．学校名

福岡県筑紫野市立天拝中学校

3．実践者名（代表者名）

森　祐洋

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　公民的分野

6．単元（本時の学習課題）名

市場経済と労働問題

7．目標（狙い）

新聞を活用することで教室と実社会を繋ぎ「新鮮で生きた情報」による労働問題の解決を目指す。

8．評価の視点

労働問題の解決プランを政府･企業･労働者の視点から多面的･多角的に考察できる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

市場経済と労働問題　6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)労働問題に関する資料を収集してスクラップブックをつくる。
(2)労働問題の要因を分析させる。
(3)労働問題報告書を作成する。　失業の実態・低賃金・派遣労働者などの実態
企業の業績悪化・輸出の不振・デフレスパイラルなど
(4)労働問題解決戦略会議を開催する。
労働問題の実態の報告･要因の分析　→　解決策を政府･企業･労働者の視点から考える。
(5)労働問題解決プランを作成する。　政府:中小企業への支援　企業:新製品の開発･女性労働者の登用
労働者:権利の主張･資格の取得など
(6)労働問題解決に向けてのシンポジウムの開催

11．児童・生徒の反応、感想・意見

スクリーンを使って自分の考えを説明するのが楽しかった。労働問題の解決へ向けて、自分の考えを何とかまとめることができて良かった。

12．成果と課題

成果
○労働問題の実態を調査する活動から、要因の分析を行い、さらに解決策を探る学習は生徒の思考の流れと一致し、課題に興味･関心をもって取り組むことができ、中学生なりの解決策を見いだすことができた。
○解説性に優れた新聞を活用したことで、実社会の問題に対する関心を高めることができた。
課題
●レポート作成の効率を高める学習プリントをさらに工夫する必要がある。